

篠崎中学校応援団実践報告書

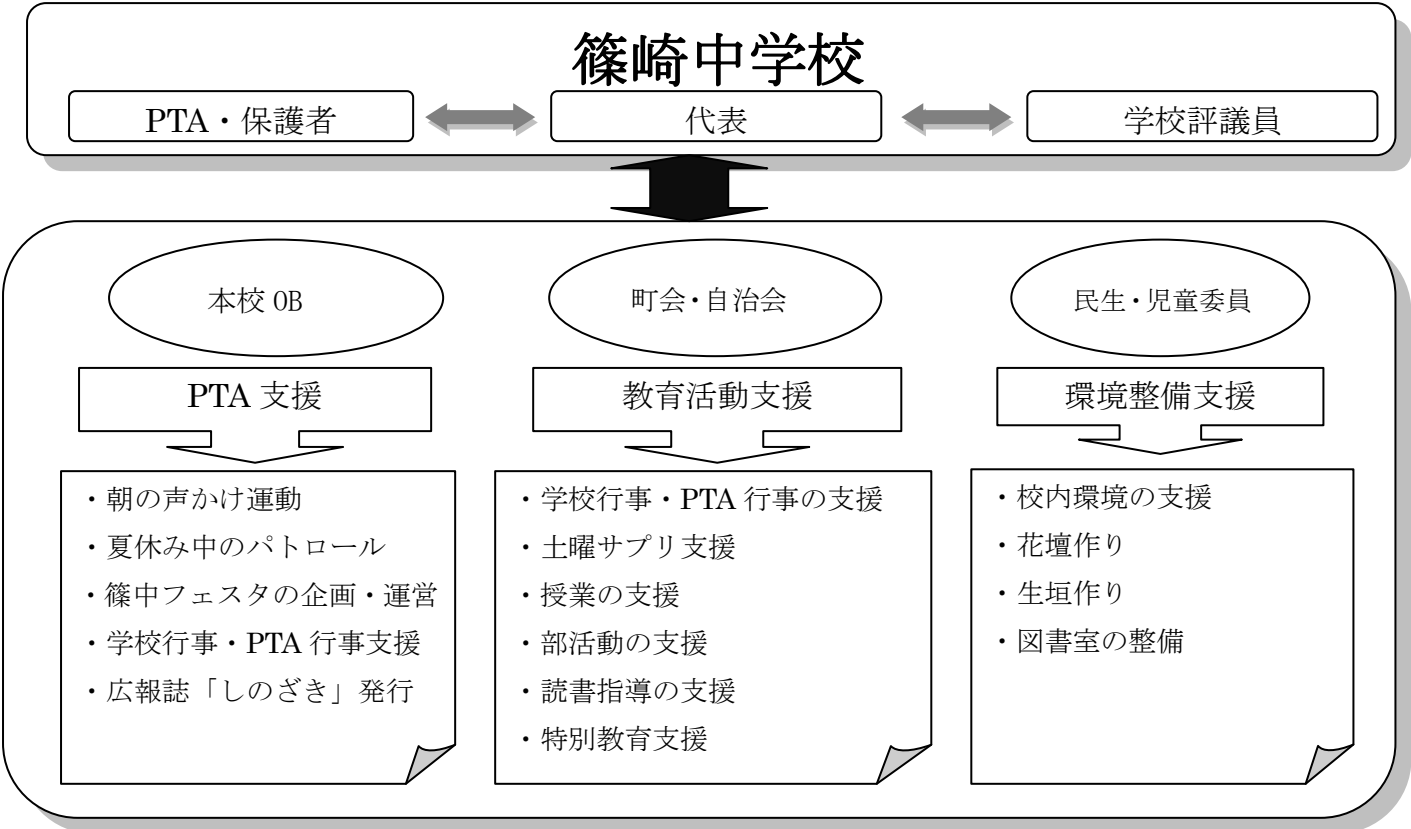
1 校長及び代表者氏名

篠崎中学校長 小林 英俊
代表 安部 千晴

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	見守る活動	○ 朝の声かけ運動 ○ 夏休み中などのパトロール ○ 学校行事・PTA 行事等の手伝い
学習活動	育てる運動	○ 篠中フェスタの企画・運営 ○ 土曜学習教室（篠中サプリ）の指導 ○ 部活動補助
環境整備活動	整える活動	○ 学校環境の整備（校内清掃・花壇づくり） ○ 図書室整備

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・生徒の育成を学校・保護者・地域が一体となって育てて行く土台になってきている。
- ・「朝の声かけ運動」に参加した方が、あいさつの様子を記入して校長室に一声かけて学校の様子などを話すなど連携が深まり、生徒たちもみんなに見守られている感を強く感じている。
- ・「土曜サプリ」はじめさまざまな学習活動に、地域の教育力を得ての学習支援支をおこなうことで学習に目を向ける生徒が増えてきている。
- ・環境整備についても生徒と一緒に活動することによって地域にある学校。地域から大事にされている学校としての母校愛が芽生えつつある。

<課題>

- ・学校応援団の人材の確保や日程調整が難しい。特に平日での授業支援活動を継続して実施していくこと。

5 代表より

・今までの活動を継続しながらも、新しい試みや改善したりして活動を行ってきました。PTA 会長経験者が代表になるケースが続き PTA との連携や地域との連携もスムーズにおこなわれていることが活動を深めているように感じています。また、学校を通して地域の方たちとも交流を深められたことによって地域性の温かさや篠崎中学校が地域から愛されていることを再確認しました。

今後も活動を継続しながら地域との交流を深め、地域に誇れる学校になるように努力していきたいと考えています。

6 学校長より

- ・今年で2年目を迎える本校の学校応援団ですが、さまざまな方からの支援をいただき運営をさせていただいています。組織的な活動をおこなうために多くの方からの意見を取り入れ、活動を展開し、発展させています。

学校・保護者・地域の願いが、「誇れる母校」を目指し、地域の一員として自覚をもてるように育てています。今後もネットワークをさらに広げ、強めることにより生徒のために充実を図っていきたいとおもいます。